



校長通信

No.21 令和3年2月12日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

立春が過ぎ、気温はまだまだ低い日が続いていますが、日照時間が少しずつ長くなり、日差しも少しやわらかく感じる季節となりました。2月は、1年で一番短い月ですが、建国記念の日と天皇誕生日と、二つも祝日があり、おめでたい月と言えるでしょう。



個人的な話で恐縮ですが、天皇誕生日の2月23日は、私と妻の結婚記念日でもあり、戸川家にとっては更におめでたい月でもあります。

《卒業式について》

3月10日（水）、卒業証書授与式を本校体育館で行います。新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み、式次を省略・短縮するとともに、式の出席者を卒業生、卒業生の保護者（各家庭1名）、本校職員、送辞を読む在校生代表1名のみとします。1、2年生は、この日を自宅学習とします。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

《学校アンケートについて》

昨年末、学校アンケートを実施しました。裏面にその結果をグラフで示しています。生徒、保護者のアンケートにおいて、家庭学習に関する質問項目以外、すべての項目で昨年度、一昨年度より肯定的に回答する率が高く、学校の取組が一定の成果を上げていると考えています。特に、「授業に真剣に取り組む」や「学校生活が充実している」などで肯定的な割合が高く、河北中学校のほとんどの生徒が落ち着いて授業を受け、学校生活を楽しく過ごしていることがうかがわれます。

一方、「授業はわかりやすい（授業の工夫・改善をしている）」の項目で生徒・教員と保護者との間で、肯定的な意見の割合に差が生じています。学校からの情報をさらに発信していく必要があると感じています。保護者アンケートの、学校の情報発信に関する質問項目も、肯定的回答率が73.8%と、他の質問項目と比べて低い結果となりました。学校・家庭・地域との連携はこれからますます重要であり、今後の課題です。

今年度、本館トイレの工事が完成しましたが、自転車置き場等の老朽化もあり「学校の設備が整備されている」の項目で、肯定的な回答率が、他の項目より低くなりました。また、「家庭学習は十分できている」の評価も保護者・生徒ともに肯定的な回答率が低い結果となりました。各家庭と連携し、長年の課題である基礎学力の充実にさらに取り組んでいくことが必要であると考えます。

今回のアンケートをもとに学校評価を行い、次年度の取組に生かしていきます。ご協力ありがとうございました。

令和2年度 学校アンケート結果概要

		生徒	保護者	教員
(1)	学校目標を意識している	81.6	86.9	100
(2)	思いやりのある学級である(一人一人を大切にしている)	95.1	89.6	
(3)	学校生活が充実している	94.6	93.1	
(4)	命や人権を大切にする教育がおこなわれている	96.6	90.3	95
(5)	授業はわかりやすい(授業の工夫・改善をしている)	93.1	80.3	95
(6)	授業に真剣に取り組む	95.7	88.1	100
(7)	進んであいさつできる	92	83.8	76
(8)	学校のきまりを守る	96.6	97	90
(9)	教科以外の活動に積極的に参加	93.7	87.7	81
(10)	学校の美化・整理整頓を意識	90		
(11)	相談できる友だち先生がいる(生徒の相談にのっている)	91.7	81.3	100
(12)	交通ルール・安全を心がけている(安全教育)	98.6	98	95
(13)	家庭学習は十分できている	56.3	43.2	
(14)	家庭でよく会話をする	74.5	93.2	
(15)	学校の設備が整備されている	85.1	80.6	85
(16)	学校は情報を積極的に発信している		73.8	91
(17)	家庭と学校の連携がとれている	87.7	83.5	91

※数字は、アンケートの「そう思う・どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合(%)

